

## 関係団体および学校・園への調査

### (1) 概要

日野市内の子どもに関係する支援団体、および市内保育園・幼稚園、小学校、中学校に対してヒアリングシートによる調査を実施しました（オンラインフォームでの回答）。一部団体に対しては、質問内容をより詳細に伺うため、電話およびWEBによるヒアリングを行いました。これまでの調査とは異なり、支援者や支援機関の側における課題やニーズを引き出すことが目的となります。

### (2) 調査対象

区分	回答者※依頼した内、回答のあった学校・園及び団体		
市内公立 学校・園 (29件)	【保育園・幼稚園】		
	たかはた台保育園	みなみだいら保育園	
	しんさかした保育園	あおぞら多摩平保育園	
	栄光多摩平の森保育園	日野わかば保育園	
	日野保育園	至誠いしだ保育園	
	もぐさ台保育園	子どもの森あさかわ保育園	
	第二幼稚園	第七幼稚園	
	【小学校】		
	七生緑小学校	旭が丘小学校	東光寺小学校
	滝合小学校	仲田小学校	豊田小学校
南平小学校	平山小学校	日野第四小学校	
日野第五小学校	日野第六小学校	日野第七小学校	
【中学校】			
七生中学校	三沢中学校	平山中学校	
日野第二中学校	日野第四中学校		
関係団体 (23件)	ほっとも日野	おむすびキッチン	
	みさわ児童館	日野市立みなみだいら児童館ぱらねっと	
	(公財) 社会教育協会	NPO法人フードバンクTAMA	
	あさひがおか児童館	子ども包括支援センター内中高生世代スペース	
	しんめい児童館	日野市立次世代育成型子育てひろばあかいやね	
	日野市立まんがんじ児童館	一般社団法人10代と社会をつなぐプロジェクト	
	ひの市民活動支援センター	日野市ヤングケアラーコーディネーター事業	
	フリースクール寺子屋のびの～び		
くらしの自立相談支援窓口みらいと	サテライトセンター高幡		

ほっとも高幡	ほっとも多摩平
マインドー読み書き苦手な子の学習会ー	
おむすびころりん	無料学習塾 日野すみれ塾
かめひろば	c-plant

### (3) 関係団体の調査結果

関係団体に対しては16の質問項目を設けて調査を実施しました。関係団体への調査結果と、そこから導かれる課題等を、下記の通り整理しました。

#### ① 貴団体と関りがあるお子さんやそのご家庭において、困難を抱えている様子のあるご家庭はいらっしゃいますか。

- ・ 困難を抱える家庭の存在を認識している。特に、外国籍、不安定就労や低収入家庭、ひとり親家庭などが顕著である。
- ・ 子どもが進学機会や十分な体験活動を得られない状況がある。

#### ② 貴団体が支援している困難を抱えるご家庭において、特別な背景や特徴は見られますか。

- ・ 外国籍家庭では言葉の壁、社会的仕組みに対する理解不足が課題である。
- ・ 日常生活における孤立、ゴミ屋敷状態など生活面の混乱がみられる。
- ・ 保護者が病気や精神疾患、障害を抱える家庭もみられる。

#### ③ 貴団体が支援している困難を抱えるご家庭における保護者には、生活面や就労の面でどのような特徴がありますか。

- ・ 非正規雇用、短期間の就労、継続勤務が困難なケースがみられる。
- ・ 保護者の不安定な生活や食料の不足、物価高騰による家庭内の困難がみられる。
- ・ 保護者自身が心身に問題を抱えていることが多く、子どもへの十分な対応が難しくなっている。

#### ④ 貴団体が支援している困難を抱えるご家庭において、「子ども」と「保護者」との関係性で特徴的なことはありますか。

- ・ 子どもが保護者に甘えられない、家庭内で本心を抑え込む傾向がみられる。
- ・ 特に母子家庭では親子の結びつきが強く、子どもが家庭内で無理をしている様子がみられる。

#### ⑤ 貴団体が支援している困難を抱えるご家庭において、「子ども」と「支援者」との関係性で特徴的なことはありますか。

- ・ 子どもが支援者に対して信頼を寄せ、相談や関係構築が進む傾向がみられる。
- ・ 支援の場を通じて、子どもの行動や精神面の変化が促されるケースもみられる。

#### ⑥ 「保護者」と「支援者」との関係性で特徴的なことはありますか。

- ・ 保護者が「支援を受けること」への後ろめたさを感じることもある。

- ・信頼関係が構築されると積極的に相談してくることもある。

⑦ 貴団体の活動範囲内で解決していくことを想定している現状の課題をお答えください。

- ・活動資金不足、人員確保、広報不足、ネットワーク構築が課題。
- ・不登校の子どもや特性を持つ子どもへの対応が困難。

⑧ 貴団体以外（行政等）からの支援が必要と思われる現状の課題をお答えください。

- ・資金援助や人材確保、複雑な家庭問題への包括的な行政支援が必要。
- ・支援ネットワークや行政と現場の連携の強化が課題。

⑨ 現在連携している関係機関をお答えください。

- ・子ども家庭支援センターや各種行政機関、学校、児童館、フードバンクなど。

⑩ 今後連携したい関係機関をお答えください。

- ・高校、大学、地域の医療機関や企業、特別支援学校など。

⑪ 貴団体の活動の中で最も効果的だったと思われる独自の取組について、具体的にお答えください。

- ・食事提供や居場所の活動、個別学習支援が特に効果的であった。子どもの参加を通じた成長変化や地域支援者との結びつきがみられた。
- ・取組の中で個別に対応したい子どもにアクセスできないことがある。親が来させるケースはいいが、親が隠すために来させないケースもある。

⑫ 活動をより充実させるために、行政に求めたいことはありますか。

- ・資金援助、人材確保、継続的な支援体制構築。
- ・具体的な施策として広報活動や支援物資調達の改善。

⑬ 活動をより充実させるために、地域の人たちに協力を求めたいことがありますか。

- ・地域イベントや講演による啓発活動の支援。
- ・見守り体制への地域参加の促進。

⑭ 今後、貴団体で取り組んでいきたいと考えている活動はどのようなことですか。

- ・新しい居場所づくり、中高生向けの学びの場提供、普及活動。
- ・親子の支援を同時に行い、生活全体を支援する取り組み。

⑮現在の制度・支援のあり方、広報等の課題についてお答えください。

- ・支援対象者の認知が不足しており「支援が必要だ」と思える仕組みづくりが重要。
- ・不十分な運営資源への改善が必要。

⑯子どもの貧困対策に効果的だと思われる取組には、どのようなものが考えられると思いますか。

- ・食事支援、居場所提供、継続的な学びと相談支援など。
- ・地域や行政、学校との連携を活用し、包括的な支援体系を構築する必要がある。
- ・学校との連携が非常に難しい状況であるため、より積極的に連携する必要がある。
- ・ボランティアを含め、支援への参加のハードルを下げていくことが重要である。

結果の総括

- ・経済的困難や就労不安定を抱える家庭の支援が必要との回答がみられました。また、保護者への精神的・生活上のサポートを強化していくことが重要であるとの意見もみられました。
- ・子ども本人については、子どもが安心できる居場所・食事の提供の拡充が重要であるとの意見がみられました。
- ・地域・行政・学校等、多機関による連携を強化していくことを求める意見も複数みられました。

(4) 学校・園の調査結果

学校・園に対しては12の質問項目を設けて調査を実施しました。

調査結果と、そこから導かれる課題等を、下記の通り整理しました。

① 貴校・貴園に在籍する子どものうち困難を抱えるご家庭の、子ども、保護者において、特別な背景や特徴はありますか。

- ・ひとり親世帯や両親不在（離婚、内縁関係など）が多く見られる。
- ・保護者が病気や精神的不安定、不可逆な経済的困難を抱える家庭も存在。
- ・保護者が養育スキル不足に直面するケースや、ヤングケアラー経験を持つ場合も確認。
- ・愛着不足、自己表現困難など、家庭の影響と考えられる子どもの特徴。

② 貴校・貴園に在籍する子どものうち困難を抱えるご家庭において、「子ども」と「保護者」の関係性で特徴的なことはありますか。

- ・保護者が忙しく、子どもとのコミュニケーションが希薄な家庭が多い。
- ・反面、ある程度のコミュニケーションが保たれている家庭は問題が軽減。

- ・保護者が子どもの生活に無関心になるケースや、保護者側が過剰に支配的である傾向が指摘。

③ 貴校・貴園に在籍する子どものうち困難を抱えるご家庭において、「子ども」と「教員・幼稚園教諭・保育士」との関係性で特徴的なことはありますか。

- ・教員・保育士に過度な心理的依存や甘えを示す傾向あり。
- ・教育現場において教員が家庭の代替的役割を果たす期待が見られ、職務を超える対応に課題がある。

④ 貴校・貴園に在籍する子どものうち困難を抱えるご家庭において、「保護者」と「教員・幼稚園教諭・保育士」の関係性で特徴的なことはありますか。

- ・教員への過度な依存、非協力的態度、不満の表明などが散見される。
- ・経済的困難が表面化した家庭では、支払いや連絡が滞る傾向。

⑤ 現在連携している関係機関をお答えください。

- ・子ども家庭支援センター
- ・八王子児童相談所
- ・エール（発達支援センター）
- ・日野警察署
- ・NPO団体（子ども食堂、子どもの居場所づくり支援など）

⑥ 今後連携したい関係機関をお答えください。

- ・保護者支援に強みを持つ団体や、家庭・子ども双方にアプローチできる機関。
- ・医療支援機関など、専門的な助言が可能な団体に期待。

⑦ 貴校・貴園で実施した中で、教育や福祉に関連すること以外に最も効果的だったと思われる独自の取組について、具体的にお答えください。

- ・放課後学習の支援体制や、地域人材を活用した体験型活動（稲作体験、物語の会など）。
- ・児童館でのフードパントリーや、中古衣服提供など実用的な支援。

⑧ 上記のような取組をより充実させるために、行政に求めたいことはありますか。

- ・制度の周知や相談機能の充実（特に夕方・夜間対応の必要性）。
- ・教育や福祉に必要な予算・人的リソースの拡充。
- ・社会福祉制度を視覚化し、保護者の負担を低減する調整への期待。

⑨ 上記のような取組をより充実させるために、地域の人たちに協力を求めたいことがありますか。

- ・子ども食堂や不登校支援活動の強化。
- ・保護者も巻き込んだ地域ネットワーク作り。

⑩ 今後、貴校・貴園で実施したいと考えている取組は、どのようなことですか。

- ・放課後支援、学習支援の強化に資源を集中したい。
- ・地域活動をベースとした子どもと保護者を包括する活動計画。
- ・現在、他機関と情報共有を行っているため、これを継続していきたい。

⑪ 現在の制度・支援のあり方、広報等の課題についてお答えください。

- ・福祉や子ども貧困支援の制度が十分認知されていない。
- ・忙しい保護者に対応可能な支援制度（相談時間帯、手続き簡素化）が不足。
- ・行政で関係機関間の効果的な連携に向けた支援が必要。
- ・現場での認識と行政の認識にずれがあり、必要な子どもに支援が届いていないケースがある。

⑫ 子どもの貧困対策に効果的だと思われる取組には、どのようなものが考えられると思いますか。

- ・子ども食堂やフードパントリー活動の推進。
- ・子ども家庭支援センターを軸としたソーシャルワークの強化。
- ・教育・福祉人材の専門性向上や、地域住民の理解促進を通じた支援強化。
- ・給食費の公費負担により、不登校の子どもなどにも気軽に給食を出せるようになり、効果が大きい。

結果の総括

- ・保護者の養育スキル向上と心理的安定が子どもの成長に直接影響するため、家庭単位での課題解決を重視する意見がみられました。
- ・教育職員が家庭問題に深く関与しなくても、関係機関とのスムーズな連携が図れる体制作りを早急に整備する必要性が指摘されています。
- ・忙しい保護者や意識の薄い保護者も利用しやすい福祉制度の広報や仕組み作りが急務であるとの意見がみられました。また、地域人材・NPOを活用した支援体制を充実させ、行政と地域が一体化して支える仕組みが重要との意見もみられました。